

西原クラス 中3保護者の方々へ

拝啓 皆様にはご健勝のことお喜び申し上げます。いつも一方ならぬお力添えにあずかり誠にありがとうございます。西原クラス中3担当吉良より、今後（春期講習後）の授業内容の指針を簡潔に述べさせていただきます。

〔授業指針〕

- ・志望する公立高校に学力入試で合格する学力を身につける。
- ・志望する私立高校（滑り止め含む）に特待入試での合格を実現する。
- ・「分かる」ことで気持ちを切り替えさせて、受身で取り組むのではなく積極的に！

春季講習から4月講習では、次の定期テストに向けて、それぞれの生徒に過去最高得点および最高順位を獲得するくらいの強い意思を持たせ、来るべきテストに向けて早速準備を開始します。また、この3年生の内容は、高校入試においても非常に重要です。さらに、高校に入ってから学習内容にも大きく影響します。

私は、準備をしておくが大切と考えます。つまり、先取り学習です。学校のみみんなが知らないことを、先に塾で学んでおくことで、学校のみより優越感を持つことができ、それは勉強に対して「前向きなやる気」になれるからです。その優越感は自信につながり、勉強が楽しく思えるようになっています。学年上位の生徒たちはその快感に酔っているから、ずっとその位置にいます。学校の授業は復習として取り組んで下さい。

従って、極力、塾を欠席することを控えて下さい。

高校入試はやがて必ずやってきます。その日に備えて、1日でも早くから「準備」をしておきたいものです。そして、この来るべき日のために準備をしておくことへの考え方は、人生の至るところで重要になると考えます（私も試験等受けたことがあります。かなり早い段階から準備に取り掛かります）。

時間的な問題で、全ての科目で「先取り学習」ができるわけではありませんが、基本的にそのスタンスでやってきました。そして何より生徒たちがそれを望むようになります。



吉良 伸一郎

〔指導指針〕

- ・ 自主性を育成する → 「将来のため」に勉強する意識。

「将来のために勉強する」私はそれを強く意識しています。結局、勉強が習慣づかない、勉強が嫌いで勉強に対して受け身になっている生徒たちは、「入試があるから・・・」「もうすぐテストだから・・・」あるいは「親がうるさいから」とその理由で考えています。

それでは、面白くもなく勉強に身が入らないのも当然。入試やテストが終わったら一気に開放され、勉強も放り出して遊びほうけてしまい、一夜漬けで頑張ったテスト勉強がムダになってしまいます。

(毎年、私は受験生には「合格は終わりではない。始まりです。合格したその日から頑張れ」と言います)

高校入試は将来の1つの壁にすぎません。いずれ生徒たちは、親元を離れ自分の力で「生活」をして人生を築き上げていきます。

さあ、いよいよ受験生です。いい機会です。まず自分の将来のこと、どのような将来が待っているのか(10年後、自分がどんな仕事についているのか?自分の周りにどんな人がいるのか?今の自分に満足しているのか?どんな生活をしたいのか?どんなところでどんな生活をしているのか?どのような大人になっているのか?自分は何か仕事に対するスキルを身に着けているのか?・・・またその10年後、35歳になった時は?結婚は?家族は?)などなど、考えたら多くの不安に気づくのではないのでしょうか?

では、次に理想です。(10年後、どんな仕事に就いていきたいのか、どんな人に囲まれていきたいのか、どんな大人になっていきたいのか、どのくらい収入があって、どのくらい休暇があって・・・)」など考えて欲しいです。それは、今からキチンと考えて行動していれば叶えることができるからです。

自分に「どのような将来が待っているのか」ではなく、自分が「どのような将来をつくっていくのか」を真剣に考えてこの1年間を有意義に費やして欲しいと思います。

誰でも「自分の将来を自分でつくりあげる」ことができます。「自分の将来のために勉強する」ことは、さらに「満足のいく人生を送る」ことへ直結してるはずです。

そうです。「自分の将来」を真剣に考える。すると、自分がやらなければならないことに気づくハズです。人生、入試などでつまづいている場合ではありません。その後、厳しい世の中(現実)が待ってます

入試は日頃の勉強を怠らず、内申点をしっかり稼いで、「内申点で合格」して、将来のためにやらなければならない自分の勉強にも取り組んで欲しいと思います。さらに、日頃の勉強をキチンとしていれば、内申点のみならず、筆記試験も大丈夫です。

敬具

西原クラス 中3担当

吉良 伸一郎